



令和4年度 予算要望を提出

8月17日、公明党文京区議団は、区役所内で成澤廣修区長に令和4年度予算要望書を手渡しました。要望は、11分野からなる合計116項目254事項を求めています。主な項目をご紹介します。



つながり支え合う社会

- 社会の中で孤立した人を支える体制づくりの強化
- 断らない相談窓口（総合相談）の設置
- 自殺防止対策の推進

教育

- すべての子どもの可能性を引き出す35人学級の円滑な実施
- コロナ禍の学びの確保
- 障がいのある子どもたちへの支援の充実



健康・福祉・子育て

- 認知症検診の円滑な実施と、予防のための聴覚検査の導入
- 不妊治療・不育症に対する支援拡充
- 産後ケア、多胎児支援、医療的ケア児への支援拡充
- 障がい者（児）施策の充実



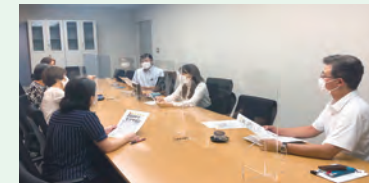
女性の活躍

- デジタル技能の学び直し・ひとり親に対する職業訓練

各種団体と意見交換会

公明党文京区議団は各種団体と意見交換会を開催（8月23、24、25日、9月2日）。終了後、田中かすみ幹事長は、「皆さまから貴重なご意見、ご要望をいただきました。区政に反映するべく、全力で取り組んでまいります。」と決意を述べました。2つの団体からいただいたコメントを紹介します。

「公明党の協力もあって、医療的ケア児が民間保育園に入園することができました。一方、その後の進路のことや、区内の預かり施設のことについて、支援して欲しい」（写真右：医療的ケアの「てとて」）



「新生児訪問の乳児保健指導料の見直しがあり感謝しています。一方、コロナ禍で保護者の集まる機会がなくなり、オンラインでの相談を始めましたので、区の事業にしてほしい」（写真左：助産師会）

（意見交換した各種団体）

東京都環境衛生事業協同組合／文京区建設業協会／文京区衛生空調防災協力会／文京区電設防災協力会／東京都助産師会文京地区／東京都社会保険労務士政治連盟文京支部／文京区医療的ケア児・難病児と親の会「てとて」／東京行政書士政治連盟文京支部／文京区知的障害者（児）の明日を創る会／東京司法書士政治連盟文京支部

岡崎よしあき区議が9月本会議代表質問（2021年9月8日）

1. 若者のワクチン接種の促進

質問 今後、若者へのワクチン接種促進ならびに普及啓発への取り組みが重要である。区の取り組みについて伺う。

答弁 東京ドームなど若い世代に訴求力のある会場で接種を実施している。また、12歳から18歳までの区民を対象にした接種会場を確保して、予約を開始した。引き続き、ワクチン接種についての正しい情報を発信し、若い世代の普及啓発に取り組む。

2. 脱炭素社会に向けた具体的取り組み

質問 脱炭素社会に向けて、家庭での具体的な取り組みの拡充が必要である。「生ごみ処理機助成金制度」の導入を提案する。

答弁 これまで、生ごみの水切り行動の推奨などを行ってきたが、ご提案の制度を含めて、効果的な取り組みを検討する。



3. 「歩きスマホ」禁止条例を

質問 「歩きスマホ」の危険性を周知徹底するべきである。「歩きスマホ」禁止条例の施行も提案する。見解を伺う。

答弁 区では警察等関係機関と協力して、「歩きスマホ」の危険性について周知啓発を行ってきた。今後も周知徹底を行い、ご提案の条例については研究していく。



お気軽にご相談ください！



岡崎よしあき



松丸まさし



宮本伸一



田中かすみ

TEL 03-5803-1318 FAX 03-3813-9721 E-mail info@komei-bunkyo.gr.jp